

12
2005
No.223
No.223
けねへつ
JA広報

秋の行事 多彩!!

組織と地域を支える
組合員の輪



11 9 JA計根別青年部 牛乳消費拡大口〜ル看板設置



10 14 第9回
JA計根別B&Wショウ



11 11 12 スタンドオープン
1周年記念



11 19 第29回 根室管内農業賞



11 13 14 えふすうい〜る
管外研修



11 17 H17
JA根室地区青年部大会



11 18 緊急計根別地域
交通安全決起集会



11 18 第31回
北根室地区農業女性講座



11 29 30 営農計画樹立
説明会

第29回 根室管内農業賞



平成17年度 第29回根室管内農業賞 受賞者



丹羽委員長より記念の盾が贈られる蛭田久仁夫さん

乳牛改良の先駆的な活動と農協事業への貢献を高く評価

根室管内農業賞委員会では、農協運動への功績や農業経営の実践活動に顕著な成績をあげた四名を対象として、第二十九回根室農業賞の表彰式を十一月十九日（農協法公布記念日）寿宴にて盛大に開いた。

表彰式には、管内農協組合長をはじめとする各関係機関の代表者が顔を揃え四十八名が出席。主催者を代表して丹羽委員長から「多くの苦勞と努力を重ね、見事に受賞された皆様には、今後とも様々な困難を乗り越え、地域の模範となってください」と挨拶。来賓からは仲野ひろ子衆議院議員が「本日受賞された皆様の功績を受け継ぎ、根釧農業の発展に努めて欲しい」と話された。続いて小池道議、廣野支庁長が、それぞれの受賞者に対して根室農業賞の栄誉を讃え、今後の活躍も期待するとの祝辞を頂いた。

その後、受賞者を代表して宮前副組合長（西春別）が「このたびの受賞も地域の長い歴史と諸先輩方の努力、各農協のご配慮があったからこそ受賞できました。今後とも地域農業・農協の発展のために尽力します」と話した。

計根別農業協同組合からは、蛭田久仁夫さん（本別）が見事に根室農業賞を受賞。蛭田さんの略歴は、高校卒業後一年間のアメリカ実習により乳牛改良のノウハウを学び、その知識と経験をもとに地域及び自らの乳牛改良に積極的に取り組んだ。昭和四十六年には、計根別で初となる同志会（本別）の立ち上げ、輸入牛導入や受精卵移植、共進会活動の普及・啓蒙に努め、地域に多大な貢献をした。その後、平成七年には農協役員（理事）に就任。就任期間中（九年间）は農協事業の発展に尽力され、特にヘルパー事業では、農休日取得、要因確保と質の向上に努め、ヘルパー制度の普及と事業の定着に大きな役割を果たした。

また、自らの酪農経営においても経営の規模拡大により安定した経営基盤を築きあげ、生産性も高く、高品質な生乳生産を実践し、地域の模範となる経営内容が高く評価され、このたびの根室農業賞を受賞されることとなった。



組合長、参事に祝福されての記念撮影



農業賞受賞を祝して“カンパニー”



両組合長に囲まれ、楽しいひとときを...



仲野代議士とのお対面でどんな会話がありましたか？



主催者代表 丹羽委員長



来賓代表 仲野代議士



縦組組合長をはじめとする地域代表者に祝福される蛭田夫妻



受賞者代表 宮前氏

営農計画樹立説明会

基本方針を基に、緻密な計画が求められた説明会



開会を告げる縦縞組合長の挨拶



別海地区からも46名が出席。
とても険しい表情で...

ミカン取引や
資産管理の徹
底を図り、足
腰の強い経営
基盤の確立が
望まれる説明
会となった。

計根別農業協同組合では、新年度の営農計画樹立に向けて、農協会議室を会場として十一月二十九～三十日の二日間に渡り、営農計画樹立説明会を開いた。

説明会は、中標津町と別海町の二地区に分けて行われ、各地区から組合員さん百十六名が説明会に出席。縦縞組合長から新年度も厳しい酪農情勢が続くとの挨拶で開会され、各部門から事業内容の説明がなされた。特に、営農計画樹立に伴う基本方針では、生産調整も懸念されるなか、個体乳量の積み上げを基本とし、実績に差異が生じぬよう現実的な生乳生産計画が求められ、その他にも収支計画の達成、経営自己分析の徹底、緻密な投資計画の四点が基本方針として打ち出された。



厳しい視線で資料を見つめる
中標津地区の組合員70名

さらに、収益性向上のポイントが整理され、乾乳期対策、家計費管理、ク



スタンド内に設置されたカー用品特売コーナー



豪華賞品が取り揃えられた福引抽選会



当日スタンドを利用された皆様は何が当たったのかな？
小西盛茂さん(左)、佐藤キヌさん(右)



オープン周年を迎え、記念セールで賑わう給油所

J A 計根別給油所では、十一月十四日でオープン一周年を迎え、組合員さんや地域の皆様に日頃の感謝を込めた「オープン一周年記念セール」を十一月十一～十二日の二日間にわたり盛大に開いた。

セールでは、メーカーからタイヤやカー用品が大特価で提供。給油されるお客様についても福引き抽選会が催され、お米や乳製品の詰め合わせなど豪華賞品が取り揃えられるなど、スタンドを訪れる皆様から大好評となった。

今後とも皆様に親しまれ、愛されるスタンドづくりを目指して参りますので、皆様のご利用を宜しくお願い致します。

第29回JA計根別B&Wシヨウ 盛会裏に終了



白黒通信

計根別乳牛改良連合会

出品牛が
2年連続の
100頭超え!

十月十四日(金)晴天(やや強風)の中、JA計根別B&Wシヨウが農協共進会場にて出品牛百十二頭を集め盛大に開催された。審査員には、ジエネティクス北海道広域事業所 吉田 潤嗣氏を迎え、丁寧な審査で出品者から好評を得た。特に、序列決定後に全頭へ声をかけて頂く気配りなど、若い会員にとっても今後の糧となったのではないだろうか。また、デーリークィーンには、水野寛子さん(養老牛田中洋希牧場実習生)をお願いし、緊迫する会場に花を添えてくれました。

さらに、今年で六年目となった父系牛群戦では、未經産三位・経産一位に輝いた本別地区が団体戦を制する結果となった。

(その他の付帯行事)

オールジャパン

ブリルターズサーブス社のブース設置
種雄牛宣伝に利用して頂くとともに、担当社員が牛の着包みを着て会場を和ませて頂いた。

計根別小学校四年生の野外学習会

北根室普及センター 浜本氏によるクイズ形式学習会を開催。非常に好評でした。
えふ・すついでるの協力による
豚汁が振舞われた

今年で四年目となる豚汁配布、えふ・すついでるの温もりが出品者・来場者の身も心も温めてくれた。

シニアリザーブチャンピオン 7部



ドロシー ルツクス タム
中村 正博

シニアグランドチャンピオン 10部



スターフィールド ヒンベル トリプル レイニー
星野 淳

4期
連続!!



審査員: 吉田潤嗣氏
(ジエネティクス北海道)

ジュニアリザーブチャンピオン 5部



HEF ムーン ジョー
ハイエストファーム

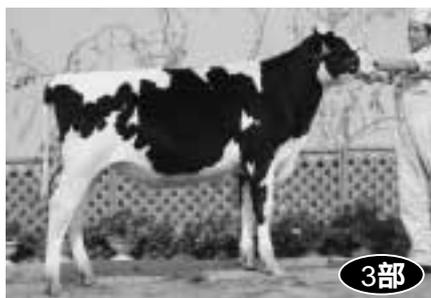
ジュニアグランドチャンピオン 5部



ラツキーファーム ミツクス チャンプ
漆原 俊之

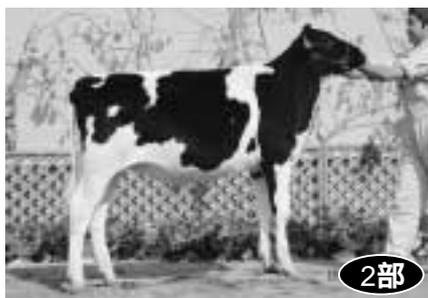


デーリークィーン: 水野寛子さん
(田中牧場実習生)



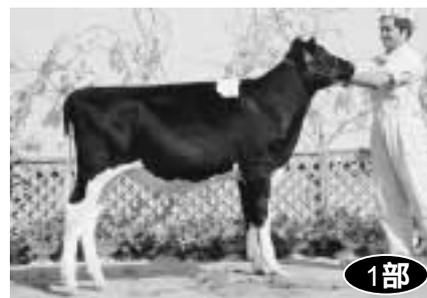
3部

サンハイ エムビービー ウインド ローザ
サンハイファーム



2部

ビューテイトップ バリアント リステル ソプリン
権随 直美



1部

サンハイ エムビービー レーリー ベル
サンハイファーム



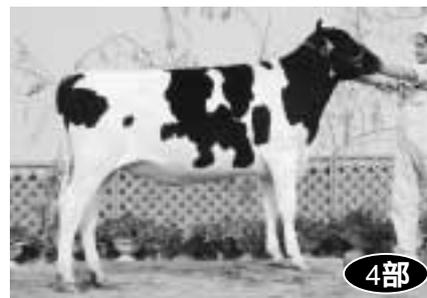
8部

センタービレッジ クルーズ
中村 正博



6部

ドリームヒル ヒンベル コットン
信夫 重勝



4部

ビューテイトップ チャールズ ベイビット
権随 直美



9部

ノーズヒル エアロ ジュラー
佐藤 広光

(団体戦 結果表)

	東 部		養 老 牛		上 標 津		本 別		大 成	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
未 経 産	2	40	4	20	5	10	3	30	1	50
経 産	2	40	3	30	5	10	1	50	4	20
合 計	2	80	4	50	5	20	1	80	3	70

同点の場合、経産の部の上位会を優先する



真剣な表情で牛を見つめる子供たち



チャンピオン戦にて緊張の一瞬を味わう出品者



繋留場も出品牛で埋め尽くされて...



普及センター浜本氏による
野外学習会



最終調整は久保拓伸くん(上標津)



僅差の勝負となった団体戦



えふ・すういーも
“豚汁”で出品者を応援



審査員の視線が気になる出品者



開会挨拶は本田(勉)副会長

全日本ホルスタイン共進会視察

計根別乳牛改良連合会



全共で見たもの、

感じたものを活かして夢の舞台に挑む

六戸 洋行

生まれて初めて全共を視察しましたが、最初に驚かされたのは、その規模の大きさと出品者皆様の気合でした。特に本州勢を見ていると、全共に対する気迫が自分にもビリビリと伝わってきました。自分は、今年の全道共進会を見ることができなかったの、とても新鮮な感じで牛を見ることができました。結果的には、北海道の牛が圧勝。素人の自分から見ても北海道牛の格の違い、レベルの高さが歴然であり、同じ北海道の人間としても嬉しかったです。また、この全共で学生時代にお世話（実習）になった農家も牛を出品しており、約五年ぶりに再会できました。「お前は牛つれてこなかったのか？」などの会話もあり、嬉しくもプレッシャーを掛けられる場面もありました。

全共というのは、夢のまた夢みたいな場所ですが、今回の視察で見たもの、感じたものを活かして、少しでもその舞台に近づけるよう努力していきます。

最後に、計根別から唯一展示牛として出品した株田宏さんお疲れ様でした。

また、今回の視察に参加した会長をはじめとする会員の皆様ご苦労様でした。自分は皆様に迷惑ばかり掛けて本当に申し訳ありませんでした。皆様のおかげでこの視察をやり多いものにできました。本当に有難うございました。



全国のレベルアップを再確認、

全共視察を通じて、新たな目標を

星野 淳

この五年間、栃木全共出場を目標に走り続け、自分の力不足を痛感してから一カ月が過ぎ、ついに全共視察の日がやってきました。

前回の岡山全共は出品者という立場で参加しましたが、今回は見学者（スタッフ）という立場の全共視察となった。



平成十七年十一月二、六日までの四日間に渡り、全日本ホルスタイン共進会が栃木県にて開催され、二瓶義則さんを団長に十名の会員が視察に参加した。今年で第十二回目を迎えた全日本共進会、五年に一度の開催とあつて来場者数も六十万人を数えるほど盛大なものとなった。ホルスタインの出品頭数は、全国から三百頭（内、北海道四十三頭）が出陳。当農協からは、(有)サンハイファームがジェネテイクス北海道の展示牛（後代検定）として、また、第十二部（経産六歳以上）へ出陳された。当管内からは、上春別の佐久間氏と標津の大迫氏が出品、見事に優等賞席を獲得した。さらに、北海道勢の勢いも止まらず全十二部門のうち八部門の一席を獲得するという快挙を成し遂げた。栄えある名誉賞には、恵庭市の福屋牧場が所有するエールムレーン スカイチーフサニ I E T 号が見事に受賞。北海道の名誉賞獲得は、平成二年に熊本県で開催された全共以来十五年振り九度目の受賞となった。

さて、どんな牛に出会い、どんな珍道中になるのか？
 審査初日の朝、会場に到着して最初に感じたことは、各都道府県別の飾りつけでした。『あーっ！これが全共なんだよなあーっ』と五年前の記憶が蘇り、とても懐かしく思えてきた。
 幕舎を見学していると府県の出品者と関係者たちが円陣を組み、このシヨウに対しての決意表明や掛け声を出している姿に思わず笑ってしまいそうになった。しかし、それは失礼だと思いその場を立ち去った。
 審査や幕舎を見学して感じたことは、五年前に比べ府県の出品技術は勿論、出品牛のレベルがかなりアップしていることに気が付いた。なかには、これはチヨットと思う牛もいたが、明らかにレベルは高くなっている。これは、'ヤバイ'と実感し、危機感を覚えたのもこの時からだ。
 審査会場は五年前と比べてどうだろう？会場内の証明は暗く、換気もあまり良くはなかった。しかし、これは時代の流れなのか？会場内には巨大スクリーンがあり、カメラからの映像がリアルタイムで映し出され、出品牛などが良く観えるようになっていたのは驚かされた。クラス審査が終わると、そこには感動の涙や笑顔、悔し涙などが見受けられ、このシヨウに対する出品者それぞれの気持ち、気迫が伝わり『五年前の自分もこんな感じだったのかな？』と岡山全共の時を思い出した。
 審査の内容は、今年の全道共進会のレベルの高さが物語るように北海道勢が上位入賞を果たし、チャンピオンも北海道勢が制する結果となった。五年前に味わった敗北が今回の成績につながったと思う。また、このたびの全共は酪農王国の意地を見せた戦いとなり、同じ北海道人として誇らしく思える反面、自分が出品できなかった悔しさも込み上げてきました。
 最後に、計根別から参加した株田宏さん本当にお疲れ様でした！！
 また、視察に同行した皆様、ご苦勞様でした。このたびの全共視察では、沢山の良い思い出をつくる事が出来ました。
 これからは自分の新たな目標も定まり、五年後に北海道で開催される全共に向けて全力で突っ走っていきこうと思います。五年後は、どんな牛に出会い、どんなドラマが待ち受けているのか？とても楽しみです。まだまだ書ききれない（書けない!）ことが沢山あります。聞きたい方は、ぼくの所まで来て下さい。こっさり教えますので…



JAと女性部との結びつきを考える ～道東ブロックリーダー研修会・北海道家の光大会～



講義を受ける渡辺広美さん(左)、中垣直美さん(右)



休憩時間はラインダンスでリラックス!!



参加者によるアトラクション「お魚天国deフラダンス」

十一月八・九日、釧路市全日空ホテルにて「平成十七年度道東ブロックリーダー研修会・家の光大会」が開かれた。
当JA女性部から、中垣直美副部長、渡辺広美副部長の二名が参加した。
研修会初日は、根室地区女性協議会水沼和子会長の司会で進められ、「JAと女性部との結

びつきを考える」と題した(株)家の光出版総合サービス小泉光久氏の講演ではとても聞きやすい説明で、組織のつながりの重要性を学んだ。その後、分散会へと会場を移した。
翌日は、組織活動体験発表、家の光記事活用体験発表。さらに、前日の分散会の報告や全体討論会となった。分散会や全体討論会では「仲間作りができた」という意見も出されましたが、一方では部員の減少や役員の手不足が挙げられるなど、この地区でもこの問題には頭を抱えているようでした。



道女性協 伊藤久美子会長の開会挨拶



司会進行水沼会長



講師小泉光久氏

今後のライフプランを学び、こころ豊かな人生生活...



講師：船木末雄氏 (JA北海道中央会)

本講習会には、自らのパソコンを持ち込み、ライフプランの作成に積極的な取り組みを見せる部員も見受けられました。充実した内容での講習会となりました。



女性部では、家計費管理の重要性と今後のライフプランを学ぼうと十一月二十二日、農協会議室にて「ライフ&ファームプラン」と題した講習会を開いた。
講習会は、フレッシュミズの六名が参加。手が離れない子供たちのために女性部三役が託児所を設けての開催となった。



パソコン操作に悪戦苦闘!!入力結果はどうでしたか?

第31回北根室地区農村女性講座 ～ 稔り多き農村生活～



講師：渋谷文子氏



講義に夢中の女性部員



料理講習会では
見事な手さばきの女性部員



道産米を使った色とりどりの
“おにぎり”が完成!!



お待ちかねの試食会!! 気になる “おにぎり” のお味は?

内容が話され、現在行っている活動を通して地域に対する思いや家族に対する思い、そして仲間に対する思いが伝えられた。

講演会終了後は、料理講習会「道産米であつたかおにぎり」いろんなおにぎりに挑戦」というテーマで十三種類のおにぎり作りに挑戦した。出来上がったおにぎりには、今まで食べた事のないものも多く、参加者も興味深く食べる場面もありました。

その後も西竹地区の星野輝子さん手作りの味噌しそおにぎりや厚焼き玉子・チーズケーキの差し入れもあり参加者から大好評となりました。

十一月十八日、北根室地区農業改良普及センターの主催により、『第三十一回北根室農村女性講座』が中標津町総合文化会館にて開かれ、当JA女性部からも十一名の部員が参加した。

講演会では「身の丈にあった私の農産加工」と題して、白糠町紫陽花グループ渋谷文子氏が講師を務めた。渋谷氏からは、農産加工活動を始める様になった経過、紫陽花グループの活動

第三十三回別海町酪農女性のつどい 二十一世紀に役立つ健康づくり

（心も体もリフレッシュ）

本実行委員会では、働きやすく、住みやすく、活動しやすい農村・地域・町づくりはどうあるべきかを相互に学び、魅力ある農村づくりを目指して、十一月二十四日別海町中央公民館にて「第三十三回別海町酪農女性のつどい」を開いた。

午後からは、癒しを覚えるハーブティーの入れ方の実演となり、末広香さん（大成）を講師に親切、丁寧な説明と指導がなされた。さらに、末広さん自身が染めたというランチョンマットも披露され、参加者から大好評を得た実演会となった。



一見妙な姿勢で体操に取り組む参加者



ハーブティーで“癒し”を学んだ講習会



講師を務めた末広さん（大成）のオリジナル作品

女性のつどいは、実行委員長である相澤せつさん（本別）の挨拶により開会され、講演・実習の時間を迎えた。講師には、全共連の二村ヤソ子さんを招き「健康な自分を創るためにやさしい動きを身につけよう」と題した講義を受け、引き続き実演に移ると、「レインボー体操」が指導され、曲に合わせたブラブ

講師の二村氏によるレインボー体操!!



講師の二村氏によるレインボー体操!!





ロール看板の設置を行った青年部員スタッフ一同!!



手際良く綺麗に文字も完成



今年も計根別支部の協力で作業も機械化



看板周辺はみんなで草刈り

青年部の 気持ちを伝え、 牛乳の消費 拡大を...

このロール看板を見て一人でも多くの消費者に青年部の気持ちが伝わることを願い、少しでも多くの牛乳が消費されることを期待します。

自らも「牛乳は美味しいから飲みたいんだ」という気持ちを全面に打ち出した内容となっています。

また、今年は青年部員に標語を募集した結果「俺たち酪農家、うまい牛乳、今すぐ飲みたい」というメッセージにしました。このメッセージは、生産者

青年部では、本年度も道行くドライバーに牛乳の消費拡大を呼び掛けるため、十一月九日計根別、中標津線の道沿いにロール看板を設置した。ロール看板の設置は、当初から七日を予定していましたが、雨天により九日に順延され、当日を迎えた。作業に移るとロール看板づくりも作業分担がなされ、ブラシカッターによる草刈、トラクターによるロール運びやラッピングなど手際良く作業が進められた。



「俺たち酪農家!!」と青年部



トリプルをゲット!!
思わず「バクッ!!」
鹿野亮平くん(大成)



魚釣り大会は今年も大好評!!



コンブを釣った
田中洋希くん(養老牛)



これぞ「大物」
佐藤広光さん(養老牛)

魚釣りを楽しみ、親睦を深めた魚釣り大会

青年部では、部員間の親睦を深めることを目的に計根別、西竹支部の主催により、十一月十六日標津町にて魚釣り大会を開いた。

当日は、天候にも恵まれ二十五名の部員が参加。しかし、集合場所である野付半島に到着すると波が高く、なかなか魚(コマイ)も釣れず、釣り場を探して最終的には標津町(ニコライ亭裏)での開催となった。

ようやく場所も定まり、釣り大会が開催されると部員それぞれが自慢の竿を持ち出し、大物を狙う「釣声」へと表情を変えた。時間の経過とともに大物を釣る部員も増え、昼食時には焼肉を楽しむ支部もあるなど、魚釣り大会は大いに盛り上がった。

結果は、次のとおりとなりましたが、秋の魚釣りで、部員間の親睦も深まる充実した一日となった。

(大会結果)

- 大きかったで賞 杉本 聡史(西竹)
- たくさん釣ったで賞 王 燕(実習生)
- 小さかったで賞 大澤 武史(本別)
- 釣れなかったで賞 本田 正志(計根別)



大きかったで賞
杉本聡史くん(西竹)



たくさん釣ったで賞
王 燕くん(実習生)

今後の酪農経営と青年部活動の充実を求めて...

平成17年度根室地区JA青年部大会



大会に出席した11名の青年部員



講師：オーレンス 森部長



分散会のまとめ役は穴戸部長と鈴木副部長



アームレスリング大会!!
ガンバレ杉本!!

地区青年部連絡協議会では、「CHALLENGE」を切り拓くを大会テーマに、未来の根室農業の充実と時代を担う子供たちや消費者に農業の大切さを伝えることを目的として、十一月十七日寿宴にて、本年度の根室地区JA青年部大会を盛大に開いた。

当日は、管内JA青年部員百名、関係機関二十名が出席。北村会長の挨拶により開会され、記念講演では、オーレンスの森部長が講師を務め、「これからの酪農経営」と題して、経営の弱



点と経営者に求められるポイントが話された。

分散会では「環境」「もうかる酪農」「ゆとりの酪農」「もてる男」と四分科会に分かれ、それぞれのテーマによる意見交換が行われた。

また、本年度の活動実績発表はJA中標津青年部。じゃがいも伯爵まつりに関する内容でまとめられ、自らの活動をPRした。最後は、各JA青年部対抗によるアームレスリング大会。各青年部から力自慢の部員が壇上に集合。全道大会出場のキップを懸けて熾烈な戦いが繰り広げられた。当青年部からは杉本聡史くん（西竹）が代表者として出場。杉本くんも大会に向けてトレーニングを積み、万全の体制で臨んだアームレスリングでしたが、惜しくも一回戦で敗退となった。

その後、分散会での意見集約、活動発表に対する審査公表、アームレスリングの表彰式が行われ、地区大会を無事終了した。

地域を代表して 青年部長が交通安全決意宣言を...



地域を代表して決意宣言を中標津警察署長へ

青年部では、今年の交通事故により盟友を含む若い酪農後継者二名の尊い命が奪われた。家族や地域にとっても計り知れないほどの被害を与える交通事故。この悲惨な事故の撲滅を誓った。緊急計根別地域交通安全決意集会が十一月十八日中標津町交流センターにて開かれた。

緊急集会には、青年部から約三十名の部員が参加。中標津警察署から交通安全講話を聞き、部員自らも交通安全に対する意識を高める貴重な時間となった。



交通安全を誓い、30名の部員が参加しました



決意宣言文を読む穴戸青年部長

最後は、参会者（計根別地域）を代表して穴戸青年部長が交通安全決意宣言を行い、青年部員はもとより地域住民の交通安全に対する新たな決意とその取り組みが宣言された。

シリーズ第21弾 逸品館

“ADLY MOTO”



今月の逸品館は、とてもカワイイ四輪バギーの紹介です。

この逸品は、ある組合員さんのD型に置かれており、遊び心満点でとても愛嬌のある四輪バギーでした。すぐに本人と交渉、快く広報誌への掲載を承諾してくれました。

このバギーは、韓国製でとても安価なものと話していましたが、そもそもモータースポーツが大好きなオーナーが可愛い子供たちのために買ったものと聞いております。

オーナーは「子供たちには興味がないみたいで、少し淋しいね」と話していました。しかし、キャンプには必需品であり、この時ばかりは大人も子供も砂浜などで四輪バギーを楽しんでいるようです。

忙しい時期にも関わらず取材にご協力して頂き、本当にありがとうございました。

ADLY MOTO

購入年 / 平成14年 8月 購入価格 / 250,000円
 馬力 / 推定 7PS 排気量 / 50cc
 車重 / 100kg 全長 / 1,270mm 全幅 / 870mm
 お気に入り / オートマチック コンパクトサイズ
 思い出 / キャンプで大活躍!!

THE FRIEND CONNECTION

大澤 武史(本別支部)
 S42.12.30生 37歳

- Q1. あなたの趣味は?
 A1. オートバイ
 Q2. あなたの愛車は何ですか?
 A2. FZR250、DJ1(スクーター)
 Q3. 好みの芸能人は?
 A3. イルカ
 Q4. 将来の目標は?
 A4. のほほんとした生活
 Q5. あなたの夢は何ですか?
 A5. 子供たちが早く家を継いでくれること
 Q6. 友達を紹介してください
 A6. 佐藤 恵二くんです。
 Q7. なぜ佐藤さんを選んだのですか?
 A7. 早くしないと青年部を退部してしまうから





量の多さに梱包作業も大忙し!!



今年のギフトセットが全国各地へ一斉に配送!!



最後の仕上げは三役が責任をもって...

予想以上の
成果を挙げた

乳製品消費拡大運動

青年部では、本年度も乳製品の消費拡大を目的として、お歳暮贈答用ギフトのとりまとめを実施した。

とりまとめは、十二月のお歳暮時期に合わせて、十一月上旬から青年部員一丸となり、各地区の組合員さん宅を訪問し、乳製品の消費拡大を呼び掛け、組合員皆様のご理解、ご協力により贈答用ギフト約四二十セット（内、職員七十セット）の注文を受けた。

また、贈答用ギフトの梱包・発送作業についても計根別公民館を会場として十一月二十八日に約二十名の部員が集い、作業分担とチームワークの良さでスムーズに進められた。

最後に、今年初めての試みとなったお歳暮贈答用ギフトですが、皆様のご協力により、予想以上の成果を上げることが出来ました。次年度に向けても今年の活動内容を再度検討し、更なる牛乳・乳製品の消費拡大を目指して積極的に取り組んで参ります。

営農課

精度の高い生産計画で、
より現実的な
営農計画の樹立を目指して



熱心に取り組む青年部員



連日、夜の夜中まで頑張り、体力勝負となった講習会

営農課では、新年度の営農計画書樹立に向けて、より精度の高い生乳生産計画を立てようと十一月二十八〜二十九日の二日間かけてパソコン講習会を開いた。

講習会初日は、組合員さん約二十名が参加。参加者のほとんどを青年部員で占め、経営移譲する前の若年層が自らの酪農経営に積極的に参画しようとする姿がとても印象的でした。特に、就農後三年未満の後継者も多く、乳検成績を見ながら繁殖成績や乳量のデータを打ち込み、最初から最後までパソコンと悪戦苦闘の連続でした。

データ入力を終えた参加者は、パソコンにより打ち出された月別の年間乳量や分娩予定頭数を把握するなど、より現実的な営農計画が樹立されそうです。

さらに、パソコン講習会の第二弾として、新年度の生乳生産計画をベースに営農計画書簡易作成ソフトを活用した講習会も実施されました。

こだわりのチーズで人を育てる経営を学び、 新しい仲間も増えた研修会

えふ・すういーる



共働学舎の宮島代表を囲んでチーズ談話!!



テナント内でパンフレットを片手にお土産調達!!



チーズの熟成庫内を見学にもメンバーも感激!!



交流会に参加した
中標津の竹村さん(中央)と置戸の小林さん(右)

えふ・すういーるでは、十一月十三十四日にかけて十勝方面での管外研修会を実施した。

今年の研修会は、新得町にある(有)共働学舎を視察。当農場は中規模クラスの経営であり、飼養頭数六十頭、生乳生産約四〇〇t。しかし、従業員数は驚くことに六十名を越えるとのことだった。宮島代表は「身体、精神的に不自由な人を雇用している。人は誰もが長所を持ち、仕事の分担により共に働くことで経済的、精神的にも自立させ、生きること学ばせている」と話す。また、自らの牛乳に付加価値を求めたこだわりのチーズは絶品。地域の風土にあったオリジナルのものが生産、販売され、消費者から好評を得ていた。

その後、帯広市内にて交流会を開催。各地域から四名の女性酪農後継者が参加し、夕食を食べながら会話も弾み、仕事やプライベートまで幅広い話題で楽しい時間を過ごした。

最後に、このたびの視察では自らの牛乳に付加価値をつけ、こだわりのチーズを生産・販売し、従業員(障害者)を育てる経営を学んだ。さらに、交流会で四名の新しい仲間が増え、全道のネットワークづくりに一歩前進した有意義な研修会となりました。



みんなで楽しく、美味しい食事を...

地元各地区
空港から

わんぱく子供タウン 東京ディズニーリゾート



3日間

ご出発日

- 1 新千歳空港から出発
平成18年1月10日(火)~12日(木)
- 2 旭川・女満別空港から出発
平成18年1月11日(水)~13日(金)
- 3 函館・帯広・釧路空港から出発
平成18年1月12日(木)~14日(土)

募集人員45名様
最少催行人員35名様

旅行代金

69,800円

添乗員同行

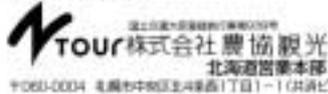


日次	行程	宿	宿泊地
1	各地区 JA 一 各々地空港 一 羽田空港 一 一 一 サンプルートプラザ東京 一 一 ディズニーシー 一 一 一 サンプルートプラザ東京	昼 夕	舞浜 サンプルート プラザ東京
2	ホテル 一 一 ディズニーランド 一 一 サンプルートプラザ	朝 昼 夕	舞浜 サンプルート プラザ東京
3	ホテル 一 一 題西臨海水族園 一 一 船の科学館 一 一 一 日本科学未来館 一 一 羽田空港 一 一 各地区 JA	朝 昼	

- 募集人員 / 45名 / 小学4年生から9年生まで
- 最少催行人員 / 新千歳空港から発着は35名様
但し新千歳空港を除く各空港発着は5名様
さらに羽田空港より35名様
- 申込締切日 / 平成17年12月23日(金)
(但し定員になり次第締め切らせて頂きます)
- ご利用ホテル / サンプルートプラザ東京
(東京ディズニーリゾートオフィシャルホテル)
洋室・バス・トイレ社、トリプル(2名様)
個室(男女別)とします
- ご利用航空会社 / 日本航空
- 食事 / 朝食2回・昼食3回・夕食2回

凡例：一 一 バス 一 一 飛行機 一 一 モノレール ■ 6:00- ■ 8:00- ■ 12:00- ■ 16:00- ■ 18:00-

●旅行企画・募集



日本旅行業協会正会員 旅行業法認可協議会会員



お問い合わせ・お申し込み
JA計根別 総務企画部 総務課
(小萩まで)

生産課より

生産販売事業部

出生報告はお早めに〔3日以内に〕

出生報告をする際の注意事項

分娩後すぐに売却する牛は、特に早めに報告をして下さい。
出生報告が遅いとトラブルの原因になります！
個人売買の導入牛、販売牛の報告も宜しくお願い致します。
耳標が脱落している牛がいましたら再発行をお願い致します。



交通安全情報



交通事故抑止緊急作戦実施中!

交通事故死全国ワーストワン返上に向け、中標津警察では釧路方面本部釧路機動警察隊の応援を得て、

郊外の幹線道路での速度違反取締り

飲酒運転の取締り

信号無視・一時不停止など交差点違反の取締り

シートベルト・チャイルドシート違反の取締り

携帯電話違反の取締り を年末まで強化しています。安全運転に気を付けてください。

冬道の安全運転ワンポイント!

これからの時期、スリップによる重大事故の発生が懸念されます。

次の点に注意して冬道の安全運転に心掛けましょう。

「急発進」「急加速」「急ハンドル」「急ブレーキ」など、急のつく運転動作は絶対厳禁

乾燥路面時の倍以上車間距離を取り、追突事故を未然防止

日陰や橋の上は深夜、早朝に凍結しやすいので、事前に減速

交差点、カーブの手前でも事前に十分減速

ブレーキ・ハンドルを同時操作すると、スリップの危険が増加

スリップして対向大型車と正面衝突



100キロでスリップして電柱に衝突



無理な追い越しで対向車と正面衝突



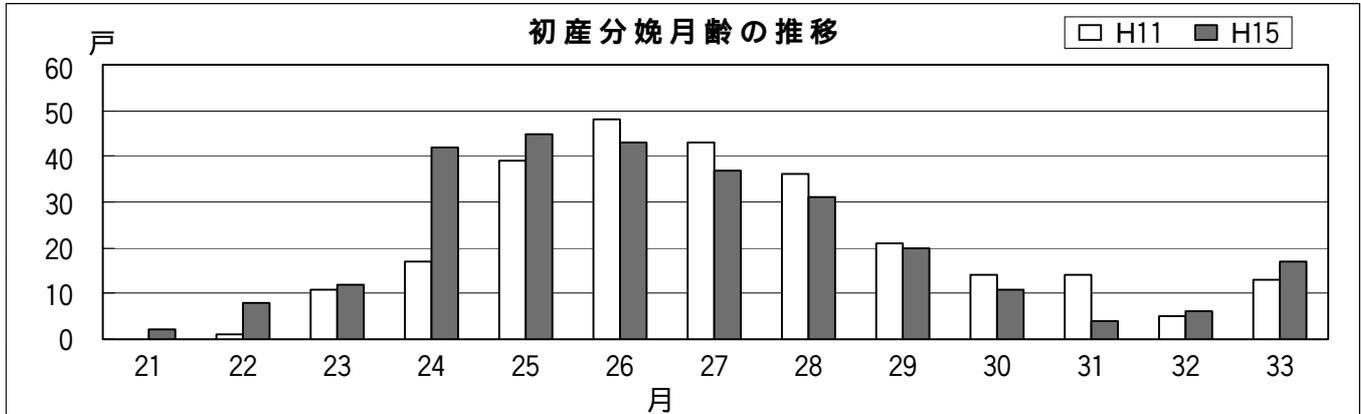
～デイ・ライト(昼間点灯)を実践しましょう。～

デイ・ライトは、昼間に前照灯を点灯(近目)にすることにより、自らの交通安全意識を高めるほか、他の運転者や歩行者等に自車の接近を知らせて注意喚起するもので、事故防止に非常に効果があります。

初産分娩月齢の改善効果について



下のグラフは、北根室管内の乳検成績から初産分娩月齢の分布を平成15年と11年で比べたものです。



皆さんの努力で、初産分娩月齢は徐々に短くなってきています。
しかし、まだ平均で26ヵ月を越えており、初産分娩が遅れている牛群も目立ちます。

遅れるほどたくさん必要な育成牛頭数

下の表は、経産牛70頭の場合に必要な育成牛頭数を、初産分娩月齢と乳牛の更新率から算出したものです。表からも分かるように、初産分娩が遅れるほど、育成牛の必要頭数は多くなります。

必要な育成牛が多くなるということは、増頭が遅れる、販売できる乳牛の頭数が減るだけでなく、当然、施設が多く必要となり施設費が上がります。また、エサ代も多くかかり、管理にかかる時間も多くなります。

表 初産分娩月齢別育成牛必要頭数（経産牛70頭）

			初産分娩月齢（月）											
			22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
育成牛必要頭数	更新率	25%	32	34	35	36	38	39	41	42	44	45	47	48
		30%	39	40	42	44	46	47	49	51	53	54	56	58

1ヶ月遅れると1頭約4万円の損

24ヵ月で分娩すべき牛が、25ヵ月で分娩したとすると、その損失額をおおまかに計算してみると次のようになります。

1ヵ月分の育成用濃厚飼料費 1日1kg×30日×45円/kg = 1,350円
 入金するはずだった1ヵ月の差し引き乳代（乳代 - 濃厚飼料費）
 $\{(25\text{kg}/\text{日} \times 73\text{円}/\text{kg}) - (9\text{kg}/\text{日} \times 42\text{円}/\text{kg})\} \times 30\text{日} = 43,410\text{円}$
 との合計で、1頭1ヵ月、44,760円の損失となります。

これは目に見える部分の金額で、実際にはその期間に給与する粗飼料や管理に係る労力も加わり、損失はもっと大きいと思われれます。

経産牛70頭、更新率25%、初産分娩月齢26ヵ月の牛群を24ヵ月に短縮したとすると、2年後には、下の計算のように、約150万円の所得増加が見込めます。 $44,760\text{円} \times 2\text{ヵ月} \times (70\text{頭} \times 25\%) = 1,566,600\text{円}$

2年目以降も、必要頭数が減少するために個体販売頭数を増やすことが可能となり、所得の増加が見込めます。

初産分娩月齢の遅れによる経済的な損失は、実際に出ていく金額が少ないため見過ごされやすくなります。しかし、こういった目に見えない損失を減らすことが儲けにつながります。

初産分娩月齢を早めるといっても、ただ早く種付けを行えばいいというものではありません。飼養管理をしっかりと行い、十分な体格を作った上で種付けを早めることが大切です。

今一度、自分の育成牛管理の見直しを行ってはどうでしょうか？
不明な点があれば、お気軽に普及センターへご相談下さい。



参加者全員で交通安全を誓う決意宣言



主催者を代表して計総振 岩淵会長が開会挨拶

事故の撲滅に向けて 地域住民200名で交通安全を誓う

緊急計根別地域交通安全決起集会

中標津町交通安全協会計根別支部と計根別地域総合振興対策協議会では、近年多発する交通事故の撲滅を図ろうと十一月十八日中標津町交流センターにて「緊急計根別地域交通安全決起集会」を開いた。

緊急集会は、計根別地域から約二百名の住民が参加。主催者である交通安全協会、計総振両団体からの挨拶で開会され、来賓挨拶として西澤町長より「緊急集會を契機に計根別地域から交通事故を追放してください」と話され、続いて嶋田警察署長からは「安全運転に対する意識を高めるべく、住民一人一人が自分のこととして取り組んで欲しい」とそれぞれの立場から交通安全に対する思いが伝えられた。

交通安全講話では、関交通課長から安全運転に対する注意事項が話され、時間に余裕を持った計画的な行動、シートベルト着用、飲酒運転はしない、以上三項目を励行し、交通安全に取り組んで欲しいとの講話を受けた。また、交通安全協会計根別支部からは交通安全への地域の取り組み内容が報告され、参加者全員で安全運転に対する取り組みを再確認した。

最後は、地域を代表してJA計根別青年部部长 穴戸一哉くん（大成）が交通安全決意宣言を行い、青年部員や地域住民の交通安全に対する新たな決意とその取り組みを宣言した。



関交通課長による講話



交通事故の悲惨さを再確認する参加者



主催者：計総振 岩淵会長（左）と交通安全協会 長尾計根別支部長（右）



来賓代表：中標津警察 嶋田署長（左）と中標津町 西澤町長

↑タテのキー

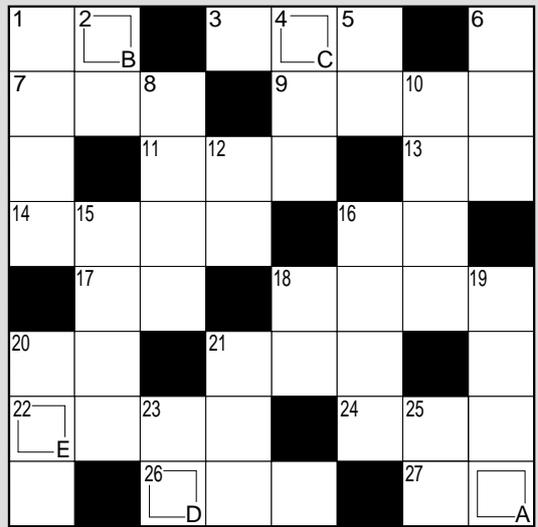
- 1 大晦日の夜に食べる
そば
- 2 元素記号はP
- 4 吸い物にしぼって入れる柑
橘類
- 5 地中に打ち込む棒
- 6 平手でホッペをパチーン!
- 8 寒い日に肩にかける女性も
- 10 輪切りのレモンを浮かべて
飲む人も
- 12 鳴門海峡の名物
- 15 「湯湯婆」と書く暖房器具
- 16 船首を右へ
- 18 キャベツの真ん中
- 19 ビジネス上の約束
- 20 こんなに寒いのにティーシ
ャツ1枚?
- 21 羽毛の入ったのはポッカポ
カ
- 23 刺身に添える野菜
- 25 スペア



➡ヨコのキー

- 1 2005年の干支は?
- 3 口や鼻を覆って感染をブロ
ック!
- 7 淑女のお相手
- 9 三浦、聖護院、桜島といえ
ばこの野菜
- 11 子どもっぽい考え方
- 13 紅白 合戦を見ながら家
族だんらん
- 14 ジョギング用のはとても軽
~い
- 16 落語の命
- 17 酒を熟成させるのに使う木
の容器
- 18 寒すぎて手足が痛がゆ~い
- 20 これも実力のうち
- 21 山から溶岩などがふき出す
こと
- 22 場所。デート
- 24 年が明けたことを知らせる
の鐘
- 26 手塚治虫のは今なお根強い
人気
- 27 釣った魚を入れる

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントを
さしあげます。なお、正解者多数の場合
は抽選とさせていただきます。
《応募方法》左下の点線の部分を事務所内
(販売機横)の投書箱へ。または、企画
課までFAX(78-2556)お願いします。
《締め切り》平成18年1月15日まで
当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

クロスワードパズル11月号の答え

ラクヨウ

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
すてきなプレゼントを差し上げます。
企画振興係でお受け取り下さい。

- 境 満さん 田中 茂男さん
- 田中 洋希さん 本田 麻理さん
- 漆原ミツ子さん

きりとり線
クロスワード
パズル

住 所 _____

氏 名 _____

TEL _____

答え
A B C D E

きりとり線

あ
と
が
き

今年も残すところあと一ヶ月。師走を迎えて組合員の皆様も大掃除
やら何やらで忙しい毎日を送っているのではないのでしょうか？
さて、十二月と言えば、「営農計画書」。一年の計は元日にあり」と
よく言われますが、来年度の農業情勢も厳しい状況が予想されます。
したがって、より現実的で計画的な生乳生産が求められ、農業支出や
家計費についても無理・無駄を省き、我慢我慢の一年となりそうです。
また、先月は緊急交通安全決起集会が開かれましたが、十一月下旬
より路面も凍り、車の運転には十分な注意が必要です。計根別地域か
ら交通事故を撲滅させるためにもスピードダウン、シートベルト着用、
飲酒運転はしないを心掛けてください。さらに、十二月は何かと出か
ける機会も多く、計画的に余裕のある行動を意識する事で、未然に交
通事故の抑制に努めましょう。



“酪農現場の裏話”

10月15日、共済組合計根別支所の前所長岡井健氏が酪農現場の裏話を一冊の本に詰め込んだ“そりゃないよ獣医さん”を発行した。本書は、獣医師の立場で組合員さんやその家族とのやりとりが書き綴られ、生産現場を踏まえて日本酪農の問題を語るという内容でした。この冬に皆様も一度読んでみてはいかがでしょうか？



編集 / 計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係
発行日 / 平成17年12月1日



この広報誌が届く頃には、今年の総括をしながら、来年度の営農計画作成に忙しい毎日だと思います。先日、二日間に渡り開催した営農計画樹立説明会では、多くの方が出席され、三件の提案事項も皆様にご理解して頂き、私自身もほっと一息している所です。牛乳・乳製品の消費減退による過剰在庫を受け、手取り乳価引き下げに加えて、生産者自らも消費拡大等で出費が高まりました。次期生産計画も減産の方向で、その方法に注視しなければならぬ正念場を迎えております。当然のごとく私達の酪農経営にもより一層の工夫と我慢を強いられます。酪農環境は、糞尿処理の問題からWTOの行方等、八方塞がりの状況にありますが、唯々案じているばかりでは、

道は開かれませんが、自らも経営の見直し、経費削減を真剣に考え、生活費も身の丈にあった改善を早急に行いなければなりません。省みれば昭和六十年、平成五年にも需給悪化で辛い思いを経験しております。決して先に見込みの無い状況とは思いませんが、酪農家自らも消費拡大に努め、北海道の牛乳、乳製品の素晴らしさを消費者の方に伝え、理解をして頂く行動を実行できれば、必ずや克服できるものと確信しております。結びに積雪、凍結で道路事情が悪くなってきました。多忙の時ですが気持ちに余裕をもって、車の運転には十二分に留意され、穏やかな新年を迎えてください。

平成十七年十二月一日 額額 成喜